## 斎藤月岑編『増補浮世絵類考』(ケンブリッジ本)

陽斎豊国 初代 翁斎 国登女 国満 国房 国照 国宗 国虎 国周 国 信 国直 国貞 国安 国次 国丸 国長 国政 此外多しといへども板下画不出ものは略之 国芳 一竜斎豊国 豊国門弟 末二記 末二記 末二記 末二記 末二記 末二記 俗称 俗称 俗称 俗 称 俗称 又五素亭 俗称 (空白) 錦絵あり三種 俗称 (空白) 俗称 (空白) 其外似顔画あり 又二代目国政なり俗称 甚助 奥会津の産なり 中山富三郎の似顔の画より板下をかく は割註・ 俗称(空白)にしき画あり (空白) 国長門人 幸蔵 粂蔵 熊蔵 甚右衛門 よみ本 二代目国安 後豊国に改む 俗称 画作の草草紙多し 歌川豊重と改む 銀座四丁目 草双紙錦画多く出せり 飯倉土器町 は書入れ・( )は見せ消ち) (空白) 錦画二三種 小枝繁の景清外伝 錦画一二種 幼 名 桧物町 にしき画草紙あり 直次郎 実子 よみ本一部あり (空白) 作名志満山人と云 芝口二丁目 不学画 板木師 十冊 玉 本郷春木町に住す 二代目国直 田所町等住 本郷三丁目 にしき絵草紙あり ——国富。第一二代目門弟 国景 国兼 国総 双紙二三アリ 錦画アリ